

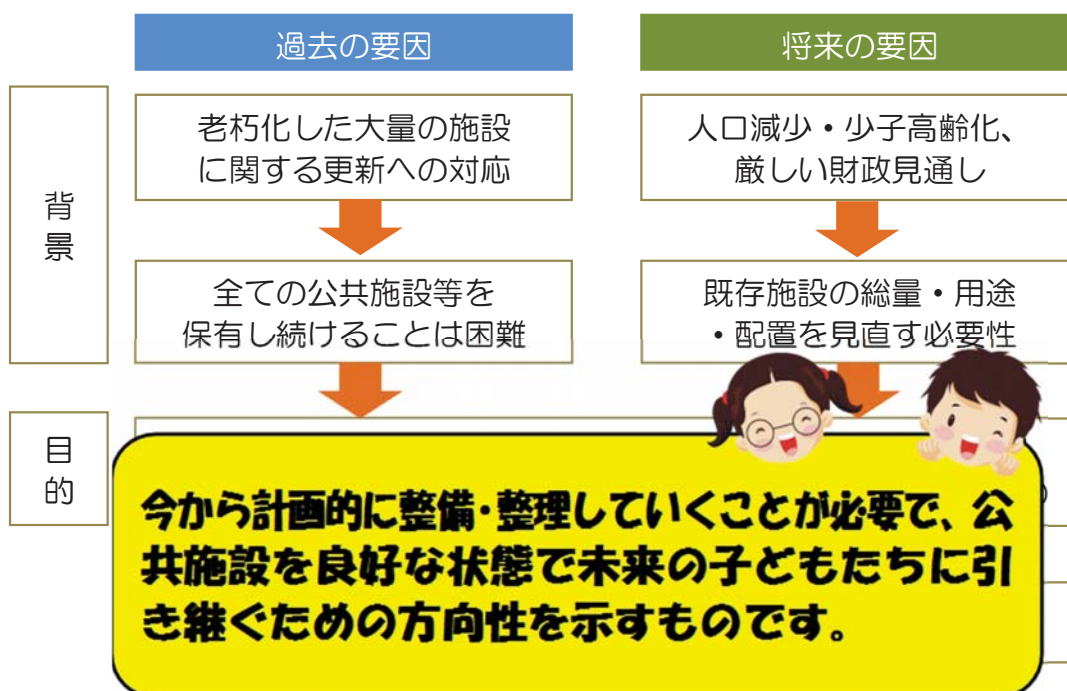
庁舎建設予定地活用
市民ワークショップ

第1回
2017.10.1

みんなの新庁舎
みんなの新福祉会館
一緒に考えてみませんか？

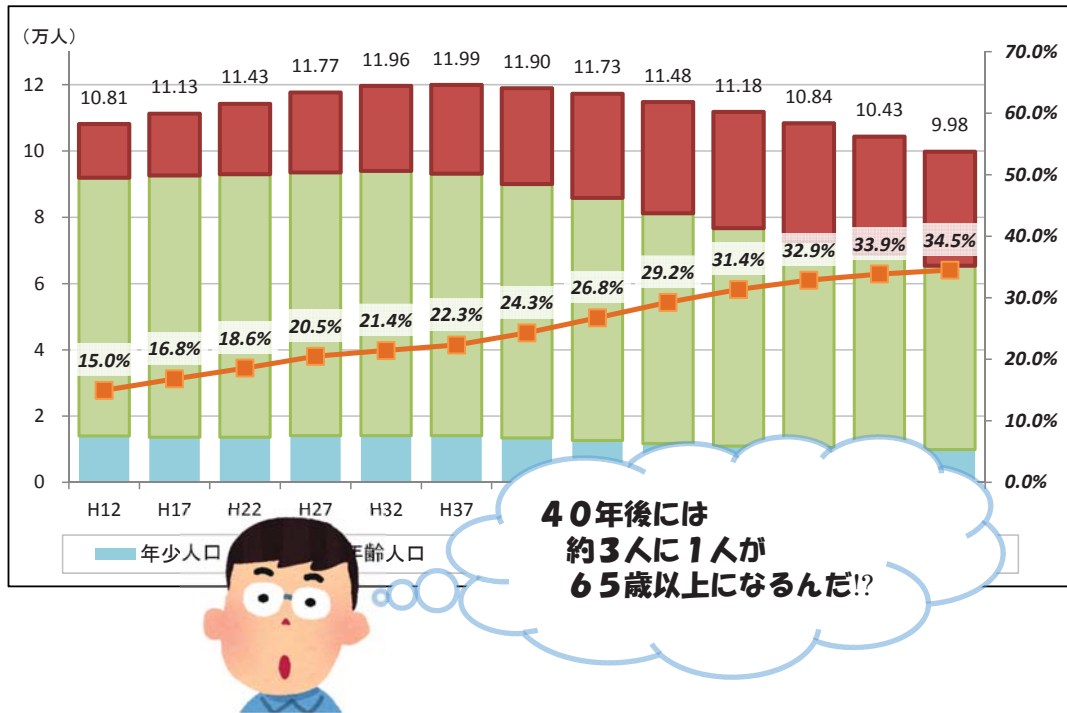
1

公共施設等総合管理計画とは



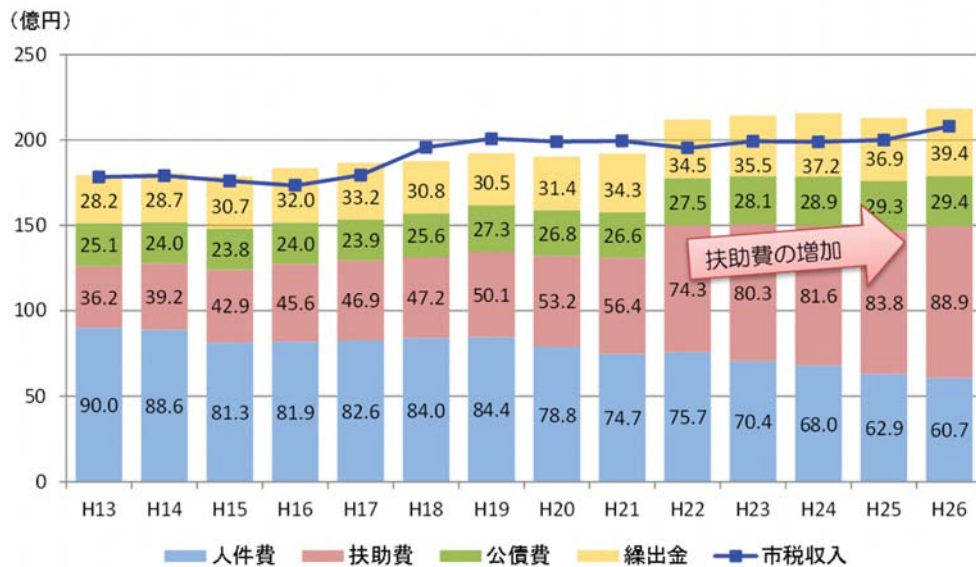
2

小金井市も人口が減るの？



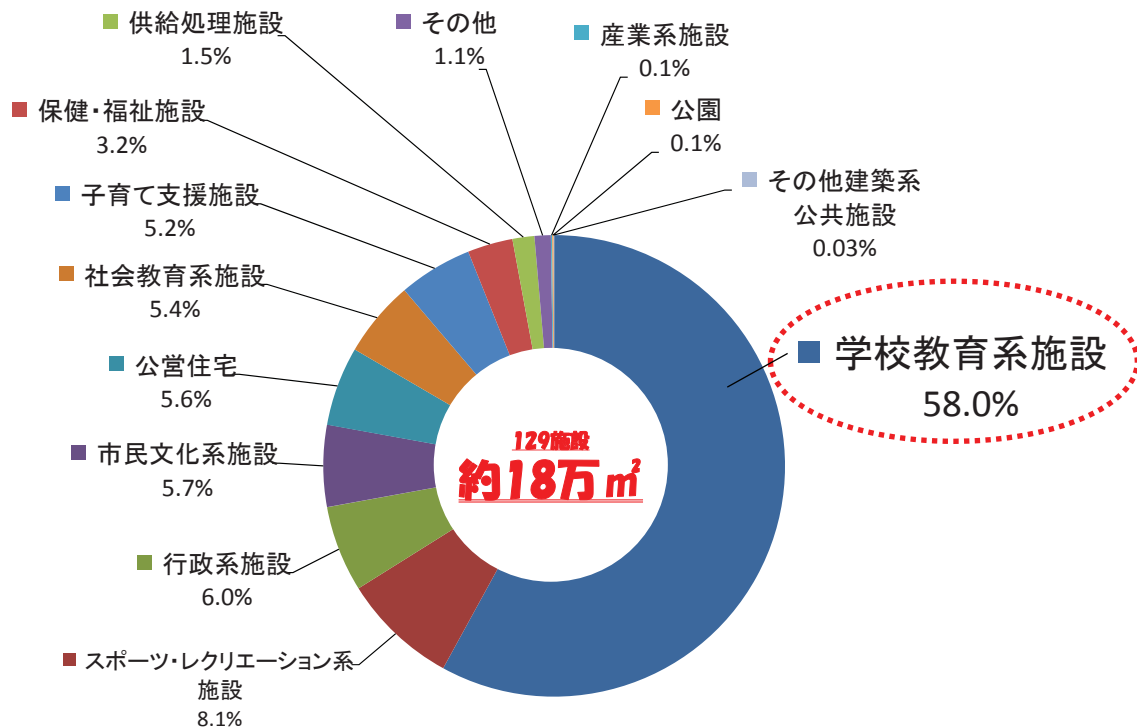
3

私たちの税金で賄えないの？



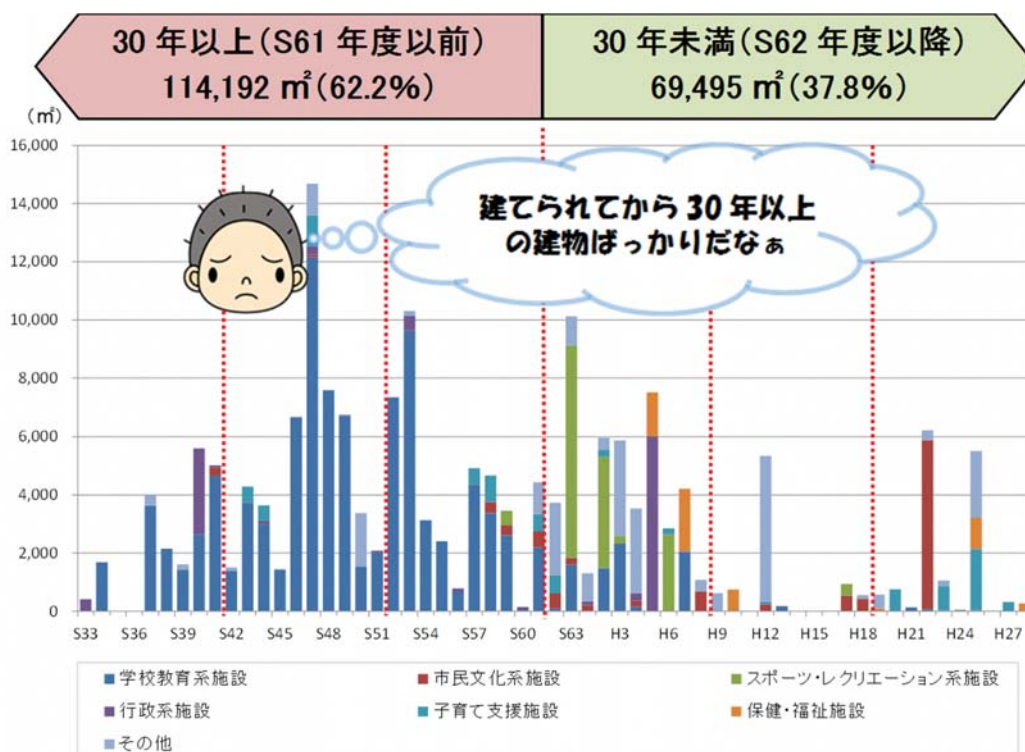
4

小金井市の公共施設ってどのくらい？



5

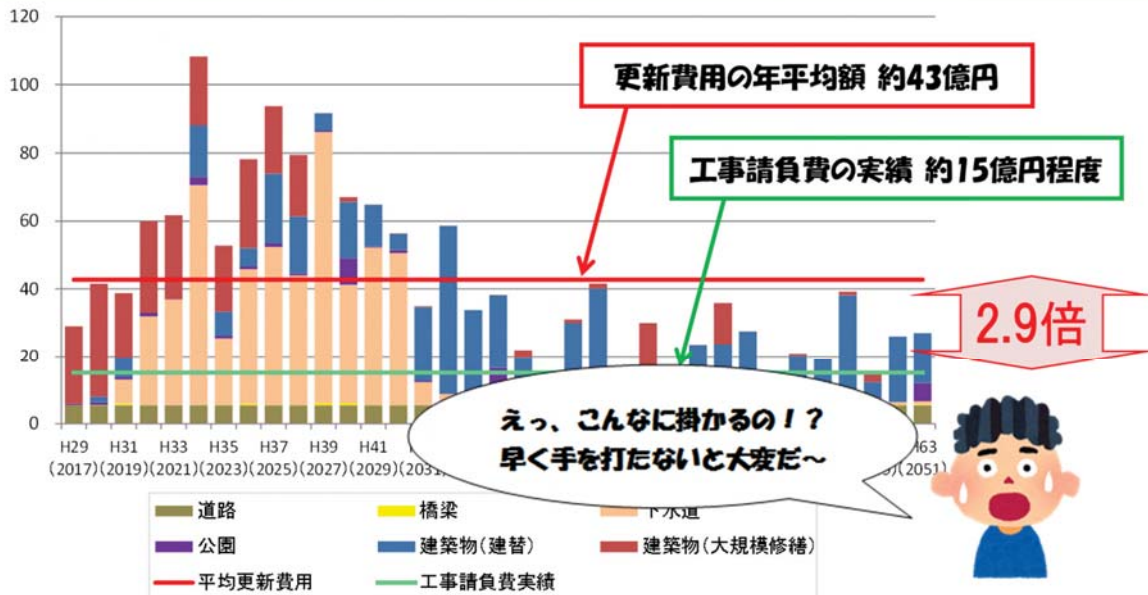
小金井市の公共施設って古いの？



6

全部直してしまえばいいんじゃない？

35年間の更新費用総額：1,497億円(年平均43億円)



7

基本目標と基本的な考え方

基本目標

将来の人口動向に合わせ、総量抑制に努めるとともに、将来更新費用及び維持管理費の縮減に努めます。

基本的な考え方1

施設の更新への対応を計画的に推進します
【計画的な施設更新】

- 公共施設等の最適化に係る方向性を定めて、集約化、複合化、用途変更及び長寿命化等の各種施策を推進

基本的な考え方2

適切な維持管理によって安全管理を徹底します
【安全・安心の確保】

- 適切なマネジメントサイクルに基づいた点検診断・修繕等の維持管理を推進

基本的な考え方3

資産の有効活用による市民サービスの向上に努めます
【市民サービスの向上】

- 公共施設等の多機能化や複合化を積極的に推進するとともに、公民連携等による様々な創意工夫を凝らし、資産の有効活用を推進

8

8つの実施方針

(1)点検診断の実施方針

点検・診断等は全てのマネジメントサイクルの出発点

(2)維持管理・修繕・更新等の実施方針

施設の存続や廃止の方向性（集約化、複合化、転用、廃止等）に基づいた修繕・更新を実施

(3)安全確保の実施方針

各施設の目的や機能に応じた柔軟な基準を定めて実施

(4)耐震化の実施方針

最新の耐震基準に的確に対応し、基本目標に基づいて計画的に耐震化を実施

9

8つの実施方針

(5)長寿命化の実施方針

中長期的な存続を図る施設については原則として長寿命化対策を実施

(6)統合や廃止の推進方針

公共施設等の総量抑制と維持管理費用の縮減によって将来更新費用に充当可能な財源の確保を図るとともに、公共施設等の量及び質の最適化を図る

(7)総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

統轄部門を中心に庁内の情報活用の一元化を図る

(8)資産活用の実施方針

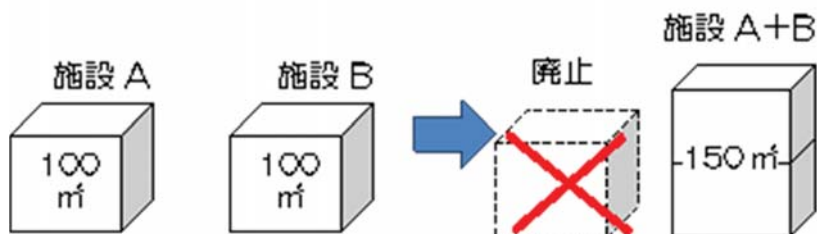
民間事業者等のノウハウを活かした歳入確保策の導入、近隣自治体との広域連携及び各種の公民連携手法の採用を積極的に推進

10

公共施設の最適化手法のイメージ

方策① 施設を1箇所にまとめる。

ポイント：
建物を効率的に
使って、機能を残し
つつ施設の総量を
減らします。



方策② 民間に運営を委ねる(譲渡含む)。

ポイント：
民間のノウハウを
使って、機能を残し
つつ市の支出を減ら
します。



11

公共施設の最適化手法のイメージ

方策③ 施設の廃止を進める。

ポイント：
ニーズに合わせて施設を
廃止して市の支出を大幅
に節約します。



方策④ 建替えの際に規模を縮小する。

ポイント：
ニーズに合わせて機能
を残しつつ市の支出を
大幅に節約します。



方策⑤ 別の用途の施設に転用(既存建物を活用)する。

ポイント：
新築費用を節約します。



12

新庁舎建設とは



本庁舎

- 耐用年数50年 築年数51年
- 耐震診断で一部指摘あり
- 大規模改修未実施につき、バリアフリー・環境配慮などに未対応



西庁舎

- 耐用年数24年 築年数58年
- 旧耐震基準(耐震診断未実施)
- 大規模改修未実施 庁内の会議等の用途に限定している



本町暫定庁舎

- 耐用年数30年 築年数38年
- 旧耐震基準(耐震診断未実施)
- 大規模改修未実施 老朽化が顕著で一部で用途を制限中



第二庁舎

- 耐用年数50年 築年数23年
- 新耐震基準(耐震診断未実施)
- 暫定的に有償で賃借 契約期間は平成30年8月末 分散庁舎は市民サービスと行政執務に欠ける部分がある

新庁舎建設とは

平成33年度まで
(計画的に)

素顔が見える「コンパクトな庁舎」
(総量抑制)

人や地域に「安全でやさしい庁舎」
(安全・安心の確保)

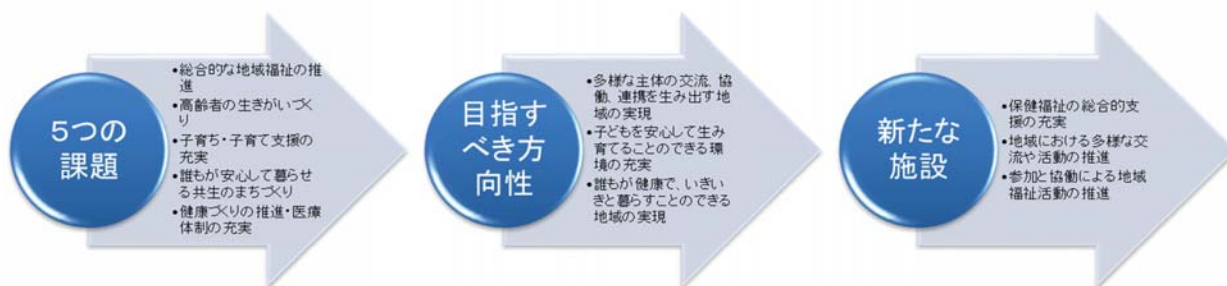
自治の要となる「市民のための庁舎」
(市民サービスの向上)

(仮称) 新福祉社会館建設とは



福祉社会館

- 現在、解体中
- 耐震診断で必要な耐震性能を満たしていなかった
- 老人福祉センター、地域福祉センター、福祉共同作業所、保健会場、公民館を備えた複合施設



地域共生社会を実現するための拠点に

15

(仮称) 新福祉社会館建設とは

施設規模
3,500㎡
(総量抑制)

平成33年度まで
(計画的に)

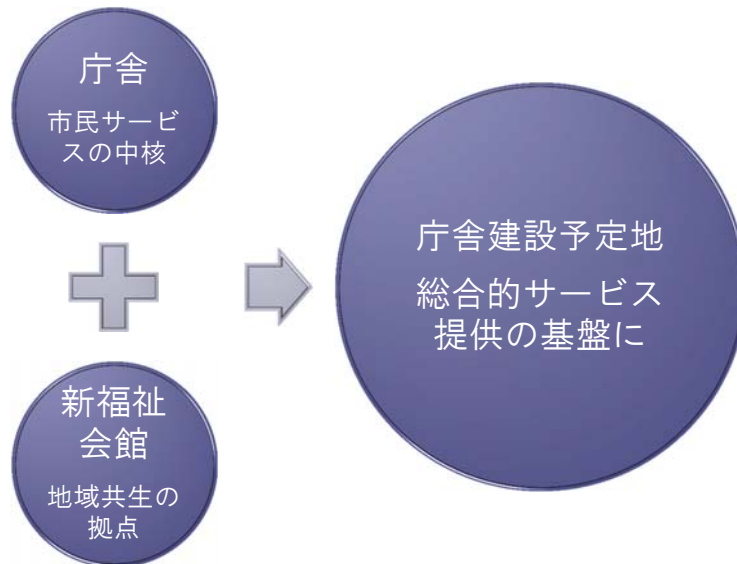
災害時にも安全かつ
安心な拠点
(安全・安心の確保)

基本理念
基本的な機能を整備
(市民サービスの向上)

16

同じ土地に2つの施設を建設すること

庁舎建設予定地（蛇の目ミシン工場跡地）は、市域中央に位置する1万㎡を超える貴重な土地であり、有効に活用すべき



小金井市新庁舎建設基本計画

小金井市新庁舎建設基本計画（概要版）

平成25年3月 小金井市

1 新庁舎建設基本計画策定の背景と経過

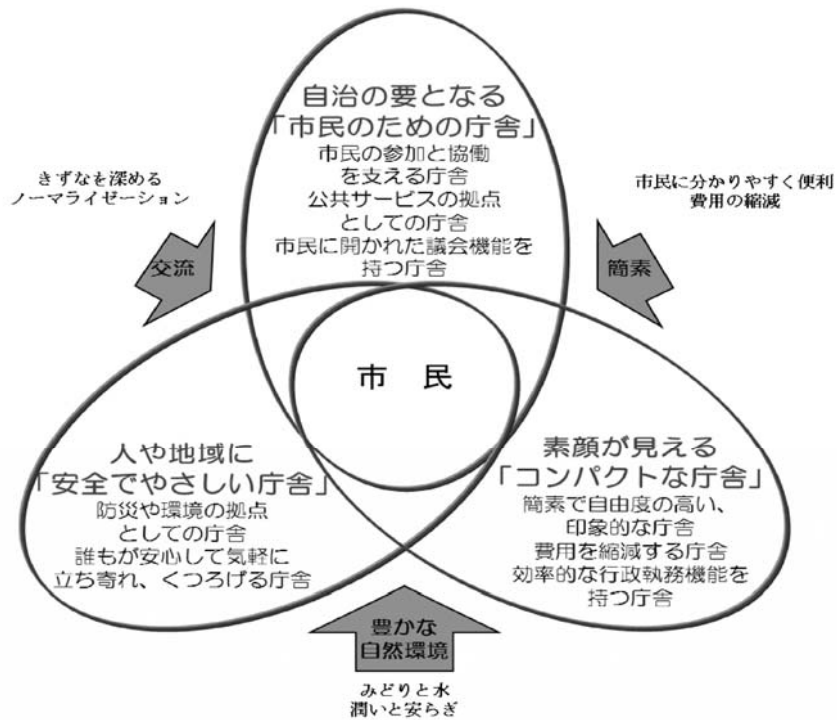
- ・本庁舎は老朽化が進み、耐震化・バリアフリー化が必要
- ・東日本大震災以降、防災拠点の機能強化の必要性が高まる
- ・第二庁舎の賃貸借契約の早期解消

時期	内容
昭和61年	新庁舎建設の検討開始
平成22年3月	市の内部組織である新庁舎建設検討委員会で「新庁舎建設基本構想（素案）」を策定
平成22年3月～平成23年1月	基本構想策定市民検討委員会で「新庁舎建設基本構想案」を検討・答申
平成23年3月	「新庁舎建設基本構想」を策定し、建設場所を「蛇の目ミシン工場跡地」に決定
平成23年6月～平成25年2月	基本計画市民検討委員会で「新庁舎建設基本計画案」を検討・答申
平成25年3月	「新庁舎建設基本計画」を策定

小金井市新庁舎建設基本計画

2 新庁舎の基本理念

～「小金井市新庁舎建設基本構想」を踏まえて、基本理念を定めました～



小金井市新庁舎建設基本計画

3 新庁舎の機能と整備方針

3-1 自治の要となる「市民のための庁舎」

<p>(1) 市民の参加と協働を支える庁舎</p>	<p>ア 市民活動、市民と行政の協働を支える機能・空間の確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 市民協働支援センター機能の導入 ② 市民協働支援センター機能を支える空間の確保 ③ 市民活動・交流の場の整備 ④ 運営のあり方、空間づくりの工夫 <p>イ 情報提供・発信機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 小金井市の個性や特性に関する情報発信 ② 市政に関する情報収集・発信の一元化 ③ 情報提供システムの充実
<p>(2) 公共サービスの拠点としての庁舎</p>	<p>ア 案内機能の充実</p> <p>イ 窓口機能の集約・総合化（ワンストップサービスの導入）</p> <p>ウ 市民が使いやすい窓口空間・機能の導入</p> <p>エ 相談機能の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 窓口における相談環境の充実 ② フライバシーに配慮した相談室の整備 <p>オ ICT（情報通信技術）を利用した公共サービスの向上</p>
<p>(3) 市民に開かれた議会機能を持つ庁舎</p>	<p>ア 本会議場・委員会室の機能の充実</p> <p>イ 傍聴・情報提供機能の充実</p> <p>ウ 調査・政策立案・研究機能の充実</p> <p>エ 市民・行政利用を想定した機能の導入</p>

小金井市新庁舎建設基本計画

3-2 人や地域に「安全でやさしい庁舎」

(1) 防災や環境の拠点としての庁舎	<p>ア 防災拠点としての庁舎の機能・空間の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 災害対策本部機能の整備 ② ライフライン・備蓄機能の充実 ③ 広場空間の確保 ④ 建築物の耐震性の確保 ⑤ 備品等の転倒防止 ⑥ 災害発生時の来庁者の避難誘導体制等の確保 <p>イ 環境に配慮した庁舎の機能・空間の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 水とみどりの空間の整備 ② 自然エネルギーの利用 ③ 省エネルギーの推進 ④ エネルギー使用の見える化 ⑤ 健康への配慮
(2) 誰もが安心して気軽に立ち寄れ、くつろげる庁舎	<p>ア 市民が気軽に立ち寄れる庁舎の空間の整備</p> <p>イ ユニバーサルデザインなど利用者にやさしい庁舎の空間の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 動線上の工夫 ② 窓口空間の工夫 ③ トイレの工夫 ④ 案内システムの工夫

21

小金井市新庁舎建設基本計画

3-3 素顔が見える「コンパクトな庁舎」

(1) 簡素で自由度の高い、印象的な庁舎	<p>ア 景観への配慮</p> <p>イ 周辺環境への配慮</p>
(2) 費用を縮減する庁舎	<p>ア 将来の状況変化に柔軟に対応できる長寿命化への配慮</p> <p>イ ライフサイクルコスト縮減の工夫</p>
(3) 効率的な行政執務機能を持つ庁舎	<p>ア 行政執務機能・空間の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 効率的な空間構成 ② 多目的スペースの確保 ③ 来庁者と職員の動線の分離 ④ セキュリティの確保 ⑤ 快適なオフィス環境の確保 ⑥ ICT（情報通信技術）・OA環境の充実 <p>イ 会議・打合わせ機能・空間の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 打合せスペース ② 会議スペース <p>ウ 効率的な収納機能・空間の整備</p> <p>エ 福利厚生機能・空間の充実</p>

22

小金井市新庁舎建設基本計画

3-4 新庁舎の規模と機能配置

(1) 規模設定の前提条件	ア 計画人口…平成32年の将来人口約12万人 イ 新庁舎に配置する想定職員数…559人(再任用・非常勤職員含む) ウ 議員数…24人
(2) 庁舎の規模	ア 新庁舎の全体規模…13,000㎡(基本構想を踏襲) イ 計画台数…駐車場約100台、駐輪場約300台
(3) 各機能・部署の配置	ア 各機能・部署の配置 イ 機能配置にあたって配慮すべき留意点

新庁舎建設予定地の概要

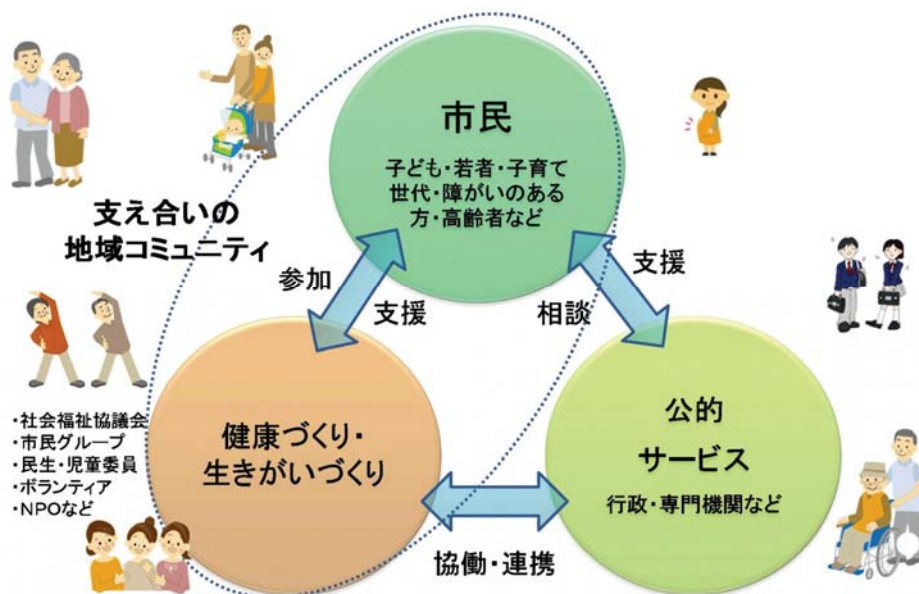
敷地概要



所在地番	小金井市中町三丁目1957番5、1957番7、1957番9、緑町五丁目1957番17	既存施設	①リサイクル事業所 882.25㎡ 鉄骨造 平屋
敷地面積	11,252.05㎡		②空缶処理施設 260.17㎡ 鉄骨造 平屋
法規制	用途地域	準工業地域(敷地北西と東は第一種中高層住居専用地域)	③ペットボトル処理施設 356.40㎡ 鉄骨造 平屋
	建ぺい率	60%	④防火水槽 地下に埋設
	容積率	200%	⑤非常災害用給水施設
	日影規制	4時間、2.5時間(測定面4m) (敷地北西と東は3時間、2時間(測定面4m))	⑥暫定広場 7,130㎡
	高度地区	第2種高度地区	
	防火指定	準防火地域	
接道状況	西側道路 幅員17.8~22.1m		

(仮称) 小金井市新福祉社会館建設基本計画 (素案)

【新施設のイメージ】

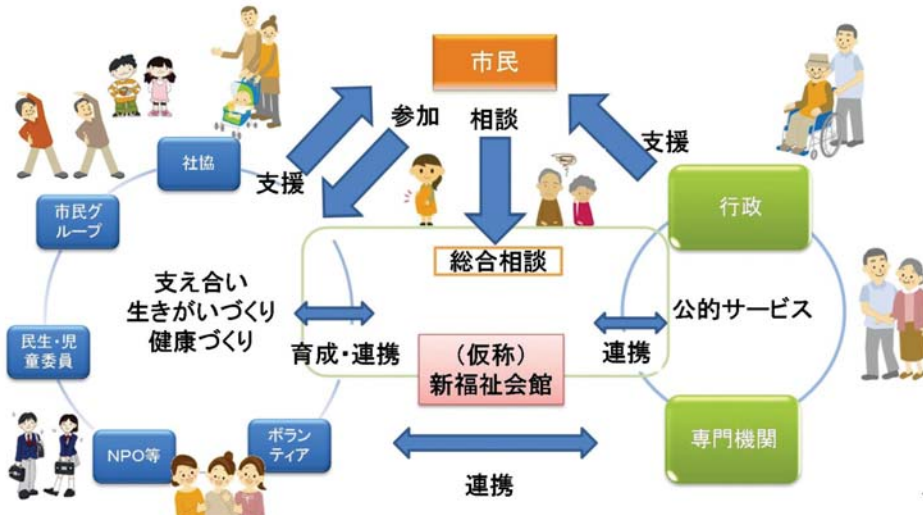


25

(仮称) 小金井市新福祉社会館建設基本計画 (素案)

3 施設の役割と事業展開

【事業展開イメージ】



26

(仮称) 小金井市新福祉会館建設基本計画 (素案)

機能一覧

(1) 保健福祉の総合的充実	(1) ア	地域福祉課	<p>福祉総合相談窓口</p> <p>個人や世帯の抱える複合的課題などへの包括的な支援、適切な相談機関に繋ぐ、コーディネート機能を有する窓口を設置する。障がい者相談、高齢者相談、権利擁護相談、子育て相談、健康相談、生活困窮者自立支援相談、その他。</p>
	(1) イ ①	健康課	<p>保健センター</p> <p>各種健康相談・指導事業、特定保健事業、介護予防事業・家庭介護教室・介護予防体操等</p> <p>市民の健康福祉の増進のため。 ①成人保健事業（健康診査、予防接種、講座等）、食育事業等 ②母子保健事業（健康診査、予防接種、講座等）、食育事業等</p>

27

(仮称) 小金井市新福祉会館建設基本計画 (素案)

機能一覧

(2) 地域における多様な交流や活動の推進	(2) ア ①	子育て支援課	<p>子ども家庭支援センター</p> <p>地域の子育て家庭を支援し、子どもとその家族が安心して健康に生活することができる地域づくりを目指す。</p>
	(2) ア ②	子育て支援課	<p>ファミリー・サポート・センター</p> <p>地域における一時保育等の育児に関する相互援助活動を支援することにより、市民が仕事と育児を両立できる環境を整備するとともに、地域の子育て支援を行い、子育て家庭の福祉の増進に寄与する。</p>

28

(仮称) 小金井市新福祉社会館建設基本計画 (素案)

機能一覧

(2) 地域における多様な交流や活動の推進	(2) イ ①	ボランティア・市民活動センター	災害ボランティアセンター	
		ボランティア・市民活動センター	(3) ウ ①	
	福祉のまちづくりのためボランティア活動拠点を運営。	災害時における被災地での災害ボランティア活動を円滑に進めるための拠点整備。 ※通常時はボランティア・市民活動センター内での設置を想定。		
	(2) イ ②	(仮称) 小金井市市民協働支援センター	市民協働支援センター準備室 (ボランティアセンター内)	
	コミュニティ文化課	協働の推進のための拠点を設置し、市民がまちづくりや人づくりに積極的に関わることのできる環境を整備する。		

29

(仮称) 小金井市新福祉社会館建設基本計画 (素案)

機能一覧

(3) 参加と協働による地域福祉活動の推進	(3) ア ①	小金井市生活困窮者自立支援事業(自立相談サポートセンター)	小金井市生活困窮者自立支援事業(自立相談サポートセンター)		
		生活困窮者の自立に向け、本人の状況に応じた包括的かつ継続的な相談支援を行うとともに就労その他の支援体制を構築する。			
	(3) ア ②	福祉サービス総合支援事業 (小金井市権利擁護センターふくしネットこがねい)	福祉サービス総合支援事業 (権利擁護センター)		
		福祉サービスの利用に際しての相談、成年後見制度の利用相談、福祉サービスの利用援助、福祉サービスの利用に際しての苦情対応等を総合的かつ一体的に実施するための体制を整備する。			

30

(仮称) 小金井市新福祉会館建設基本計画 (素案)

機能一覧

(3) 参加と協働による地域福祉活動の推進	(3) ア ③	自立生活支援課	<p>障害者就労支援センター</p> <p>—</p> <p>障害者の一般就労の機会の拡大を図り、障害者が安心して働き続けられるよう、小金井市障害者就労支援センターを設置する。</p>
	(3) ア ④	地域福祉課	<p>小金井市福祉サービス苦情調整委員 (オンブズマン)</p> <p>小金井市福祉サービス苦情調整委員 (オンブズマン)</p> <p>福祉サービスに関する苦情に公正かつ中立の立場で迅速に対応し、福祉サービスに対する市民の信頼性を高めるとともに、福祉の一層の向上を図る。</p>

31

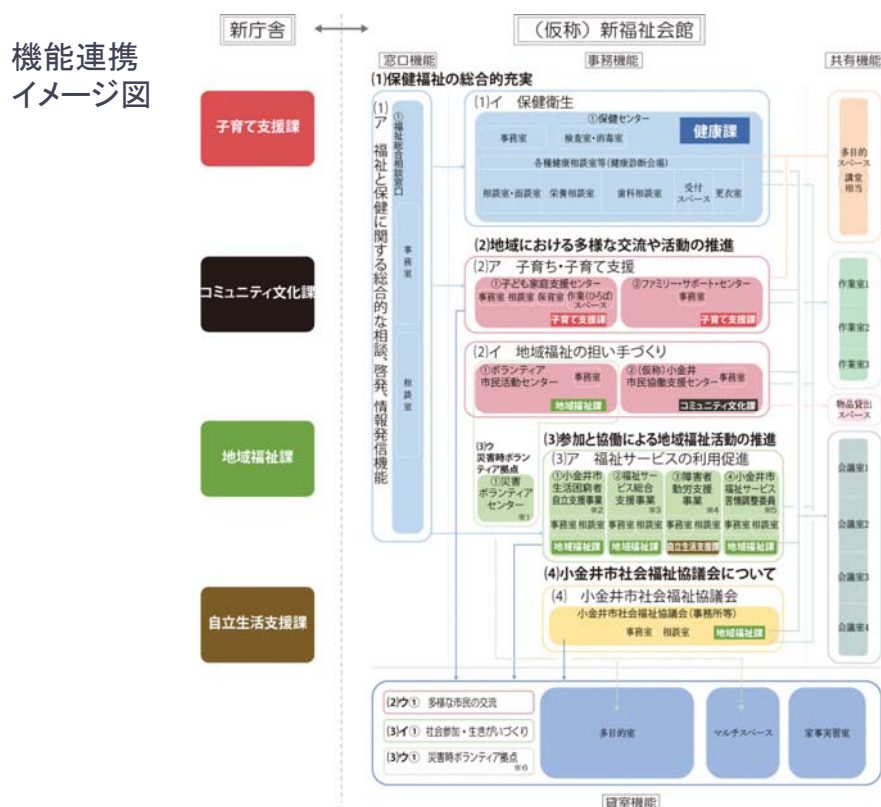
(仮称) 小金井市新福祉会館建設基本計画 (素案)

機能一覧

(4) 小金井市社会福祉協議会について	(4)	地域福祉課	<p>小金井市社会福祉協議会 (事務室等)</p> <p>—</p> <p>小金井市社会福祉協議会</p> <p>社会福祉法第109条の規定により「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として位置付けられており、社会福祉を目的とする事業の企画及び実施、社会福祉に関する活動への住民参加のための援助、社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成を通じ、地域福祉の推進を図る。</p>

32

(仮称) 小金井市新福祉会館建設基本計画 (素案)



33

市民ワークショップについて

小金井市新庁舎建設基本計画 (H25.3)
 (仮称) 小金井市新福祉会館建設基本計画 (素案) (H29.7)

市民ワークショップ

市民の皆さんが訪れる機会を増やしたい⇒市民の皆さんの目線が大事

行政

市民が利用しやすい、質の高いサービスを提供できる
 窓口機能・空間のあり方

市民

新たな活動のための
 機能・空間のアイデア

基本設計・実施設計へ反映

34

ワークショップとは？

ワークショップとは、
ある目的のためにグループをつくって、
共同体験 や、 **共同作業** を通じ、
アイデア を出し合い、
目に見える創造に結び付ける
作業活動 のことです・・・

35

ワークショップの流れ

第1回
2017.10.1

「新庁舎・新福祉社会館ってなんだろう？」

新庁舎・新福祉社会館について理解を深めた上で、
施設の在り方、施設に期待することについて議論

第2回
2017.10.21

「新庁舎・新福祉社会館で何をしたい？」

イメージ写真を用いて、こんな空間がほしい、こ
んな活動がしたい、という より具体的な議論

第3回
2017.11.18

「新庁舎・新福祉社会館をどう使う？」

ゾーン配置図をもとに、使い勝手のイメージをさ
らにふくらませる

36

第1回

「新庁舎・新福社会館ってなんだろう？」

- 新庁舎に期待することは？
- 新福社会館に期待することは？
- 新庁舎と新福社会館が同一敷地にあることで、どんなことが期待できるか？

37

ワークショップの4つのルール

発言はコンパクトに！

全員が自分の考えを発言できるように、出来るだけ簡潔にお話ししましょう。

話をさえぎらない！

考え方・意見が違うのは当たり前です。人の話をさえぎったり、否定しないように。

話ながら手を動かす！

新庁舎・新福社会館づくりのこれからのために、皆さんの考えは「文字」にして残してください。

楽しみましょう！

お互いのまちに対する想いを共有する場です。自分の想いを語り、人の想いを聞き、楽しく語り合ってください。

38

議題

- 新庁舎に期待することは？
- 新福祉会館に期待することは？
- 新庁舎と新福祉会館が同一敷地にあることで、どんなことが期待できるか？

39

発表

今日の議論を全体に
紹介してください。

40

次回（第2回） 「新庁舎・新福祉社会館で何をしたい？」

- 新庁舎と新福祉社会館を同じ敷地に建設したら
どんなことができる？
- どんなスペースが必要で、そこで何をする？
- そのためには、どんな建築的な仕掛けが必要？